



2年目になる「夏休み学力補充教室」には、延べ111人が参加

柏原っ子

令和元年8月27日

第5号

文責：中西

9月のことば

「時間というものは、止まることなく常に流れています。けれども、時間というものは、ただの入れ物にすぎません。」

(聖路加国際病院名誉院長 日野原重明さんの言葉)

時間は「ただの入れ物」、とは？

2学期が始まりました。暑さの中、運動会の練習もあり、新しい勉強もあります。集中して過ごしても、ぼーっと過ごしても、同じように時間は流れていきます。

「9月のことば」で紹介した日野原さんは105歳で亡くなるまで緩和ケア病棟を回診し、講演や東日本大震災の被災地支援に尽力されたお医者さんです。その方のエッセイにあった「時間というものは、ただの入れ物」という言葉に心惹かれました。

時間の中身、つまり時間の質を最終的に決めているのは自分自身なのだとすることを新しい学期を迎えるにあたって改めて感じたのです。あなたがあなたらしく生き生きと過ごせば、その「時間」は、まるであなたに命を吹き込まれたように、生きてくることでしょう。まずは柏原小運動会に向けて、「今の自分の力の全てを出し切り、仲間と協力して運動会をつくった」という実感を子どもたちみんなが持てるよう、教職員一同、努力を惜しまず頑張っていこうと思います。

9月の行事予定

- 2日(月) 交通指導、委員会活動、運動会係活動
- 5日(木) なかよし活動(応援)、5年FS事前学習
- 6日(金) 2年伊吹山登山予備日
- 7日(土) 柏原中学校体育大会
- 9日(月) 運動会係活動(5・6年)
- 11日(水) 5年フローティング・スクール(～12日)
お話会(1・2年)
- 13日(金) 交通指導
- 14日(土)
- 16日(月) 敬老の日
- 20日(金) 運動会前日準備
- 21日(土) 運動会
- 23日(月) 秋分の日
- 24日(火) (前日までに運動会実施の場合) 振替休業
- 25日(水) 交通指導、お話会(5・6年)、
子ども安全リーダー会
- 26日(木) 交通指導
- 27日(金) 交通指導、柏中学区教育フォーラム(柏中)
3年ワールド・マート見学
- 30日(月) 委員会活動、3年学びっこスタート



【2学期の主な行事】

- <10月>
 - 1日(火) なかよしカーニバル
 - 3日(木) 山東部連合運動会(予備日：4日)
 - 17日(木) 山東部音楽会
 - 21日(月) オープンスクール、家庭学習強固週間
- <11月>
 - 6日(水) はびろウォークラリー(予備日：8日)
 - 14日(木) マラソン大会(予備日：21日)
 - 25日(月) 不審者対応避難訓練
 - 29日(金) はびろ学習ラリー(授業参観)
- <12月>
 - 2日(月) 人権週間
 - 5日(木) 人権集会
 - 6日(金) PTA本部役員会、評議員会
 - 17日(火) 学期末個別懇談会(～19日)
 - 23日(月) 終業式、大掃除

全国学力・学習状況調査からみえてきたもの

4月に行われた今年度の全国学力・学習状況調査の結果が届きました。小集団である本校の「平均点」は、大規模校でのそれとは意味合いも違うので慎重にならざるを得ませんし、結果に一喜一憂するものでもありませんが、教科に関する調査では、国語・算数ともに、県と全国を上回る良好な平均正答率となりました。特に、国語では漢字の読み書きやことわざの意味などの「言語についての知識・理解・技能」の分野で、算数では「数量や図形についての知識や理解」の分野や無解答率の低さで、それぞれ強みを発揮しました。

また、生活習慣や学校環境に関する「質問紙調査」では、どの質問に対しても肯定的な回答が占め、子どもたちの豊かな育ちを実感しました。回答方法は「1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない」という四択になっていますが、このうち「キッパリ肯定型」の「1」の回答率に注目してみました。（「どちらかといえば～」は答えやすいものですが、キッパリ型は、なかなか…）

質問	キッパリ肯定型回答率	柏原小	滋賀県	全国
今住んでいる地域の行事に参加していますか。		75.0	47.8	37.2
読書は好きですか		60.0	42.6	44.3
人が困っているときは進んで助けますか。		60.6	37.1	40.4
学級での話し合いを通じて自分の考えを広めたり、深めたりできていますか。		50.0	28.3	30.3
国語の勉強は大切だと思いますか。		85.0	67.5	68.6
算数で学習したことは将来役に立つと思いますか。		90.0	71.9	72.3
（補足説明）国語、算数ともに「その勉強は好きですか」のキッパリ肯定型は県や全国並みの約3割です。				

当然のことですが、教科学力とその児童を取り巻く環境とは深い関係があります。前述の教科学力の結果と合わせ考えると、地域や読書は教室では得難いものを学ぶ大切な場や機会となっていることが再確認できます。また、子どもたちが過ごす「学級」が子どもたちの興味関心や意欲を引き出し、心を育て、生きてはたらく学力となる礎であることも見て取れます。

これらの結果を、子どもたちへの教育指導の充実や学習状況の改善等に役立て、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するようさらに努めて参ります。

●親子愛校作業 お世話になりました！

24日の美化作業を終え、すっかり美しくなった校舎内外。お陰さまで、気持ちよく2学期を迎えることができます。皆様、本当にありがとうございました。

■挨拶標語の校内入選作品



ボランティア委員会の呼びかけにより、全校であいさつ標語づくりに取り組みました。委員会で審査の結果、以下の作品が代表として選考され、

米原市のあいさつ標語募集に出品されます。

ところで、夏季休業中に開催された民生委員児童委員様との懇談会で、「登校時、地域の中では挨拶の声があまり大きくない子でも、学校が近づくにつれてだんだんとその声が大きくなる傾向がある」という何とも不思議なご意見を複数いただきました。

学校イメージは子どもたちの第一印象で決まる。なかでも「挨拶」は大切！ 学校でも地域でも同じように気持ちの良いあいさつができますように、これらの標語をよく噛みしめ、指導にあたっていきたいと思います。

あいさつは げんきわけあう ことばです	さら
はびろのわ あいさついっぱい ひろげよう	ゆきと
出会ったら たのしく言おう げんきななかおで	あやは
あいさつで 心のとびら 今ひらく	りの
おはようと みんなが言えば 町光る	あおい
おはようの 朝の一言 いい気持ち	しょうご
あいさつで つながる学校 みんなの笑顔	えいた
あいさつで 心のスイッチ ONにしよう	まひる
あいさつで つながれ広がれ えがおのわ	まなみ